

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>東区防災・安心安全フェスタ</p> <p>(事業開始年度) H29～(※) (※防災・防犯・交通安全をテーマにしたフェスタは、新潟東警察署が開署した平成29年度に実施。その後、令和元年度と、新型コロナウイルス感染症が収まった令和5年度にも実施)</p> <p>【R6予算額】 0千円</p>	<p>総務課</p> <p>【第1部会】</p>	<p>【事業目的】 幅広い世代の方々に防災や防犯などくらしの安心安全に関心をもってもらうため、防災・防犯・交通安全をテーマにイベントを開催する。 新潟東警察署や東消防署などの関係機関とも協力して、効果的な周知を図る。</p> <p>【事業内容】 ・防災講座 ・各種展示、体験コーナー ・東警察署や東消防署など関係機関による啓発ブース ・起震車体験 ほか</p>	<p>【日時】 令和5年10月21日(土) 10時～16時</p> <p>【会場】 東区役所南口エントランスホール、西口ロータリー</p> <p>【内容】 ・メインステージ(防災クイズ、特殊詐欺防止啓発等) ・東警察署、東消防署、JAF等の関係機関の啓発ブース ・起震車(雨天で中止) ・防災DVD啓発コーナー ・防災食試食 ・サトウ食品、一正蒲鉾の協賛品提供配布(サトウのごはん、おでん) ・スタンプリナー</p> <p>【参加団体】 新潟東警察署、東消防署、新潟市消防団東方面隊、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、新潟東地区防犯協会、日本自動車連盟(JAF)新潟支部、東区社会福祉協議会、日本赤十字新潟市東区支部</p> <p>【参加者数】 約2,100名</p>	<p>フェスタ以外の方法で、防災・防犯・交通安全の各分野で、継続して周知啓発を行っている。(数年単位で実施のため、フェスタの実施はなし)</p>	<p><実績> ○令和元年度 ・令和元年10月27日(土) ・参加者数 約1,600人 ・参加団体 新潟東警察署、東消防署、新潟市消防団東方面隊、新潟東地区防犯協会、新潟東交通安全協会、日本自動車連盟(JAF)新潟支部、東区社会福祉協議会、東北電力にいがた、新潟市水道局、新潟市市民生活課ほか</p> <p>○平成29年度 ・平成29年10月28日(土) ・参加者数 約2,000人 ・参加団体 新潟東警察署、東消防署、新潟市消防団東方面隊、日本自動車連盟(JAF)新潟支部、日本赤十字社新潟県支部、東区社会福祉協議会、新潟市水道局、新潟市環境政策課</p>	<p>【評価】 1 事業内容の妥当性 ひとり一人が日頃から防災に関心をもち、適切な行動をとることが災害時には重要で、防犯や交通安全についても幅広い世代に関心をもってもらう必要があることから、イベントを通して周知することは有効である。 2 事業の効率性と費用対効果 警察署や消防署、JAFなどの関係機関と連携して啓発活動を行うことで、効率的な周知啓発ができる。 3 協働の視点 防災や防犯の取り組みには地域住民の協力が欠かせないことから、防災出前講座や地域の防災訓練にあまり参加しない世代にもイベントを通して働きかける。 4 今後の事業展望 数年おきに開催予定</p> <p>【来年度方針】 拡充 令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、津波避難に関心が高まったことから、令和6年度に東区の津波ハザードマップを作成し、全世帯に配布予定である。 昨今の自然災害に備えて、事前にお住まいの地域のハザードマップを確認することの重要性が改めて再認識されていることから、令和7年1月26日には東区自治協議会と共同で防災啓発のイベント(東区プラザ)を行い、ハザードマップの周知を行う。フェスタでもハザードマップの周知に力を入れ、繰り返し啓発を行うことで市民の防災力を高める。 令和7年度のフェスタでは、防災の公開講座を新たに行い、専門家の話や経験者の話なども交えて多くの方に聴講してもらう。</p> <p>【必要予算額】 1,400千円</p>

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
地域と水辺と共生プロジェクト (事業開始年度) R2～(※) (※令和2年度から「じゅんさい池未来プロジェクト」として継続的に実施。令和5年度より事業名を「地域と水辺と共生プロジェクト」に変更。) 【R6予算額】 8,300千円 ↳地域課 3,300千円 ↳区民生活課 2,000千円 ↳建設課 3,000千円	地域課 区民生活課 建設課 【第3部会】	【事業目的】 「じゅんさい池みらいプラン」に基づく活動を継続するとともに、東区の水辺環境の魅力について、地域と連携しながら発信することで、地域への愛着の醸成やにぎわいの創出を図る。また、「じゅんさい池みらいプラン」に基づき池の自然環境保全活動を行う。 【事業内容】 ○地域課分 ・じゅんさい池・水辺環境等の魅力発信 ・じゅんさい池フォーラム & まち歩き ○区民生活課分 自然環境保全活動 ○建設課分 事業目的に寄与する公園施設の設置や改良	○地域課分 1 魅力発信 ・広報用動画の活用 ・総合学習支援(小学校1校、高校1校、大学1校) 内容: 広報用動画の放映、スライド資料を用いた説明等 ・じゅんさい池ナイトウオーク 開催日: 令和5年8月9日(水) 内容: ガイドによる生き物の生態解説等 参加者数: 親子20名 2 じゅんさい池オンサイトセミナー 開催日: 令和5年11月3日(金・祝) 内容: 専門家等による講演会及び現地学習会 参加者数: 32名 3 活動母体の基盤づくり 保全活動・交流活動の運営体制構築に向けた検討会 開催日: 令和5年6月12日(月)、令和5年12月15日(金) ○区民生活課分 4 自然環境保全活動 ・西池の園芸スイレン及びヨシ等の刈取り 開催日: 令和5年10月1日(日) 雨天のため、業者による水抜き、剪定・伐採作業のみ実施 ・外来種カメの駆除(東池・西池) 開催日: 令和5年6月28日～10月6日 捕獲数: 0匹 ○建設課分 公園内に案内サインを4基設置	○地域課分 ・広報用動画の活用 ・総合学習支援(小学校1校、高校1校) ・じゅんさい池クイズラリー(東山の下フェスティバル出展) 開催日: 令和6年6月2日(日) 参加者数: 234名 ・じゅんさい池ナイトウオーク 開催日: 令和6年8月2日(金) 参加者数: 親子8組17名(大人9名、子ども8名) ・じゅんさい池オンサイトセミナー 開催日: 令和6年11月3日(日) 募集人数: 30名 ・じゅんさい池撮影ウオーキング 開催日: 令和6年11月23日(土)予定 募集人数: 30名(予定) ・じゅんさい池PRポスター作成 ・保全活動・交流活動の情報交換会 開催日: 令和6年5月1日(水) 内容: 地域住民、区内事業者によるミーティング ○区民生活課分 自然環境保全活動自然環境保全活動 ・池の園芸スイレン及び水際ヨシ等の刈取り <西池> 開催日: 令和6年10月6日(日) ・外来種カメの駆除 開催日: 令和6年6月6日～ 捕獲数: 0匹 ○建設課分 ・公園内に案内サインを2基設置 ・駐車場のトイレの壁面塗装 ・女子トイレの洋式化	○地域課分 ・総合学習支援(東高校1年生240人、東山の下小学校3年生130人) ・じゅんさい池クイズラリー 参加者: 234名 ・じゅんさい池ナイトウオーク 参加者数: 親子17名(大人9名、子ども8名) ・じゅんさい池オンサイトセミナー 募集人数: 30名 ・じゅんさい池撮影ウオーキング 募集人数: 30名(予定) ・保全活動・交流活動の情報交換会 地域・学校・民間事業者 13名	【評価】 1 事業内容の妥当性 策定した「じゅんさい池みらいプラン」に基づき、魅力発信や自然環境保全活動を実施すること、地域の誇りづくりや活性化に有効であると考えている。 2 事業の効率性と費用対効果 総合学習の時間を活用し、多くの若者にじゅんさい池の魅力を発信している。 3 協働の視点 地域住民と共に、池の保全活動を行っている。また、地域のイベントに参加し、共に池の魅力発信を行う。 4 今後の事業展望 「じゅんさい池みらいプラン」に基づく活動を継続するとともに、ラムサール条約湿地自治体認証に寄与できるような内容を検討実施していく。 【来年度方針】 拡充 ○地域課分(2,300千円) 引き続き「じゅんさい池みらいプラン」に基づく活動及び東区の水辺環境の魅力について、地域と連携しながら発信することで、地域への愛着の醸成やにぎわいの創出を図る。 ○区民生活課(3,500千円) 自然環境保全活動に関して、地域と連携しながら引き続き実施していく。 また、外来種カメの捕獲を推進・強化するため、捕獲作業を業務委託する。 ○建設課(3,000千円) じゅんさい池公園の回遊性と魅力向上のため、案内サインの設置や駐車場トイレの内装塗装などを行う。 【必要予算額】 8,800千円

地域課

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>東区歴史文化プロジェクト</p> <p>(事業開始年度) H24～(※)</p> <p>※平成24年度から「東区まんなか文化プロジェクト」として継続的に実施。令和3年度より事業名を「東区歴史文化プロジェクト」に変更。</p> <p>【R6予算額】 3,200千円</p>	<p>地域課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 東区市民劇団による演劇公演や、区内を中心に活動している個人・団体の作品展示、区内中学校・高校文化部の活動発表などを通じ、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、東区の歴史の普及啓発に取り組むことで、にぎわいの創出と地域の活性化を図る。</p> <p>【事業内容】 1 東区市民劇団演劇公演事業 東区を中心に活動している市民劇団「座・未来」による演劇公演を東区プラザで行う。 2 東区文化活動サポート事業 区内を中心に活動している個人・団体(区内中学校・高校の文化部を含む)による作品展示などの文化活動を支援する。 また、区役所南口のエントランスホールや東区プラザを活用した「にぎわい」の創出に取り組む。 3 歴史普及啓発事業 公民館事業と協力・連携しながら実施する。</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「希望の唄～じゅんさい池とピツカリ城」 開催日：令和6年2月10日(土)～11日(日)※3回公演 会場：東区プラザホール(定員250人) 来場者：685人</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 ①東区まんなか文化祭 開催日：令和5年11月2日(木)～15日(水) 会場：(1)東区役所1階南口エントランス吹抜部分：中学校体育祭応援パネル (2)東区プラザ2階中央フロア：中学校・高校文化部作品展示</p> <p>②県立大学生によるクリスマスツリーの装飾・展示 開催日：令和5年11月25日(土)～12月25日(月) 会場：東区プラザ2階中央フロア</p> <p>③県立大生書道サークル作品展示 開催日：令和6年1月5日(木)～31日(水)予定だったが、書道サークルの対応不可となった</p> <p>④東区ギャラリー 開催日：令和5年9月～令和6年3月まで、1か月ごとに展示を行う個人または団体を申込者から抽選により決定。 会場：東区役所1階会議室壁面</p> <p>3 歴史普及啓発事業 ※中地区公民館との共催 ①東区歴史文化まち歩き ○中地区 開催日：令和5年6月3日(土) 参加者数：23人 ○大形地区 開催日：令和5年9月30日(土) 参加者数：19人</p> <p>②桃山のむかしのお話を聞く会 開催日：令和6年2月6日(火) 桃山小3年</p> <p>③歴史団体との東区ガイドマップ作成実行委員会(全7回開催)</p> <p>④東区歴史見どころマップデータ作成</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「ボネコツ港の水滸伝」 開催日：令和6年12月7日(土)～8日(日)※3回公演 会場：東区プラザホール(定員250人)</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 ①東区まんなか文化祭 開催日：令和6年11月1日(金)～18日(月) 会場：(1)東区役所1階南口エントランス吹抜部分：中学校体育祭応援パネル (2)東区プラザ2階中央フロア：中学校・高校文化部作品展示</p> <p>②県立大学生によるクリスマスツリーの装飾・展示 開催日：令和6年11月23日(土)～12月25日(木)予定 会場：東区プラザ2階中央フロア</p> <p>③東高校書道部作品展示 開催日：令和7年1月6日(月)～31日(金)予定</p> <p>④東区ギャラリー 会場：東区役所1階会議室壁面 開催日：令和6年4月～令和7年3月まで、1か月ごとに展示を行う個人または団体を申込者から抽選により決定。</p> <p>3 歴史普及啓発事業 ※中地区公民館との共催 ①歴史団体との東区ガイドマップ作成実行委員会 開催日：令和6年6月13日(木)</p> <p>②東区歴史見どころマップ印刷・配布 印刷3000部</p> <p>③東区歴史見どころマップ広報活動 (1)区内中学校長会議(令和6年6月3日) (2)区内小学校長会議(令和6年7月12日)</p> <p>(3)区内教育コーディネーター研修会(令和6年7月18日)</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 令和6年度出演者：47人</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 令和6年度東区まんなか文化祭応募数 (1)区内中学校・高校美術部作品展示：東新潟、山の下、石山、木戸中学校、東特別支援学校、東高校の6校 (2)中学校体育祭応援パネル展示：東新潟、山の下、石山、木戸、東石山、下山中学校の6校</p>	<p>【評価】 演劇公演のオーディションや作品展示などで区民が文化活動に参加し、鑑賞する機会を提供できるほか、東区の歴史の普及啓発につながっている。</p> <p>【来年度方針】 継続 区民に文化鑑賞と活動団体の発表の機会を提供することで、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、にぎわいの創出と地域の活性化を引き続き図っていく。 東区まんなか文化祭は、発表の機会が少ない中学生の作品展示を中心に、R6年度と同様に来年度も実施する。 県立大学生と連携したクリスマスツリーや、東高校書道作品の展示は継続して実施する。 東区ギャラリーはR6年度と同様に通年で実施する。 歴史普及啓発事業は、引き続き公民館事業と協力・連携しながら実施する。</p> <p>【必要予算額】 3,400千円 ・東区市民劇団演劇公演事業(2,000千円) ・東区文化活動サポート事業(1,000千円) (中学校・高校文化部、中学校体育祭応援パネル展示などの文化祭実施の委託料、クリスマスツリー設置、書道展示、東区ギャラリー) ・歴史普及啓発事業(400千円)</p>

地域課

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>産業E産探求プロジェクト (事業開始年度) R6～</p> <p>【R6予算額】 5,000千円</p>	<p>地域課 【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 東区が「産業のまち」となるまでには、港や通船川(旧県営貯木場)、鉄道などのインフラを活用し発展してきた経緯がある。東区の産業の発展を支えてきた産業遺産やその歴史について、講演会やまち歩きをとおして参加者を知ってもらうとともに、大学生等から産業E産探求記者としてまち歩きに参加してもらい、記事として発信することで東区の魅力の再発見につなげる。</p> <p>【事業内容】 1 講演会(定員300人) 東区の産業の発展や歴史についての講演会、歴史団体等の活動発表会を東区プラザで行う。</p> <p>2 まち歩き(定員20人×3回) ①山の下通船川まちあるき(山の下神明宮など)※中地区公民館事業で歴史サークルによるまち歩きを実施 ②通船川コース(旧県営貯木場など) ③山の下コース(日本貨物鉄道(JR臨港貨物)など)</p> <p>3 産業E産探求記者による情報発信 大学生等5人程度が記者としてまち歩きに参加してレポート記事を作成し、同記事を市HP等で情報発信する。</p>	<p>なし</p>	<p>1 講演会(予定) 開催日:令和7年3月2日(日)時間未定 会場:東区プラザホール(定員300人) 内容: 第1部 専門家による基調講演 第2部 歴史団体等の活動発表</p> <p>2 まち歩き(定員20人×3回) ①「中地区公民館事業」山の下通船川まちあるき(山の下神明宮など) 開催日:令和6年9月28日(土) ②通船川コース(旧県営貯木場など) 開催日:令和6年11月予定(詳細未定) ③山の下コース(日本貨物鉄道(JR臨港貨物)など) 開催日:令和6年11月予定(詳細未定)</p> <p>3 産業E産探求記者による情報発信 大学生等5人程度が記者としてまち歩きに参加してレポート記事を作成し、同記事を市HP等で情報発信する予定</p>	<p>1 講演会(見込) 参加者300人、東区歴史団体5団体</p> <p>2 まち歩き(見込) 参加者数:60人(20人/回×3)</p> <p>3 産業E産探求記者による情報発信(見込) 大学生等5人</p>	<p>【評価】 1 事業内容の妥当性 「産業のまち東区」の産業遺産を活用した事業を行うことにより、東区の魅力を再発見してもらうだけでなく、観光資源の少ない東区の新たな魅力として認知度が向上することで、交流人口の拡大が期待できる。</p> <p>2 事業の効率性と費用対効果 まち歩きのレポート記事を市HP等で情報発信することで、講演会やまち歩きの参加者だけでなく、多くの方に「産業のまち東区」の魅力を発信することができる。</p> <p>3 協働の視点 東区内の企業等に訪問先や説明者として協力してもらうことをきっかけに「産業のまち東区」への理解を図るとともに、業務委託による民間企業や大学生等の学生記者の活用、公民館との連携による産学官連携など、他事業への協力にもつながることが期待できる。</p> <p>4 今後の事業展望 民間の事業では見学が難しい施設(JR貨物や旧県営貯木場など)に協力してもらい、「産業のまち東区」に興味をもってもらう動機づけを行い、東区民の誇りや愛着の醸成と交流人口の拡大に向けて、継続的に実施していく。</p> <p>【来年度方針】 継続 さらに多くの方に東区の魅力を再発見してもらえるよう、遊びの要素を加えたまち歩きなどを行いつつ、情報発信を継続して取り組んでいく。</p> <p>【必要予算額】 4,000千円</p>

地域課

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
工場夜景バスツアー (事業開始年度) H28～ 【R6予算額】 2,000千円	地域課 【第3部会】	<p>【事業目的】 区内外の企業や工場の見学を取り入れた工場夜景バスツアーの実施を通して、「産業のまち」としての東区の魅力の再発見と区民の誇り作りに取り組む。</p> <p>【事業内容】 工場夜景バスツアーの実施</p>	<p>工場夜景バスツアー(全3回、各回定員40人)</p> <p>1 令和5年10月13日(金) 応募42人 1.05倍 見学先: 榊丸山車体製作所、東消防署、こうじ水作り体験など</p> <p>2 令和5年10月16日(月) 応募67人 1.67倍 見学先: 新潟県消防防災航空隊、(株)博進堂など</p> <p>3 令和5年11月7日(火) 応募185人 4.62倍 見学先: 燕喜館(古町芸妓の舞観賞)、旧齋藤家別邸など</p>	<p>工場夜景バスツアー(全5回、1、3、4、5回定員40人、2回のみ28人)</p> <p>1 令和6年9月25日(水) 応募60人 1.50倍 見学先: 新潟県消防防災航空隊、東消防署など</p> <p>2 令和6年10月10日(木) 応募69人 2.46倍 見学先: 新潟浄化センター、山の下閘門排水機場(オープントップバス苗バスII利用)</p> <p>3 令和6年10月16日(水) 応募211人 5.27倍 見学先: 新潟空港、新日本海フェリーなど</p> <p>4 令和6年11月8日(金) 募集期間: 9月23日(月)まで 見学先: 燕喜館(古町芸妓の舞観賞)、旧齋藤家別邸など</p> <p>5 令和6年11月14日(木) 募集期間: 9月23日(月)まで 見学先: 燕喜館(古町芸妓の舞観賞)、旧齋藤家別邸など</p>	<p>【実績】 工場夜景バスツアー(定員40人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 3回実施 294人応募(2.5倍) 令和4年度 3回実施 438人応募(3.7倍) 令和3年度 4回実施 229人応募(1.9倍) ※1、2回は受け入れ先との調整により定員20人で実施 令和2年度 4回実施 261人応募(2.18倍) ※1、2回はコロナにより定員20人で実施 令和元年度 4回実施 926人応募(5.8倍) 平成30年度 3回実施 665人応募(5.5倍) 平成29年度 2回実施 692人応募(9.2倍) 平成28年度 4回実施 2,279人応募(14.2倍) 	<p>【評価】</p> <p>1 事業内容の妥当性 東区の工場夜景を核とした事業を展開することにより、観光資源の少ない東区の新たな観光資源として認知度が向上し、区民の誇りや愛着の醸成、交流人口の拡大に寄与している。</p> <p>2 事業の効率性と費用対効果 プロポーザルにより選定された事業者に委託して実施している。 参加費は1人当たり5,000円としており、総事業費の概ね4割程度を参加費から支出している。一般的なバスツアーより参加費が割安となっていること、通常の旅行会社の企画では行けないような公共的施設を見学できることが人気になっていると思われる。</p> <p>3 協働の視点 東区内の企業等に見学先として協力してもらうことをきっかけに、産業観光への理解や、産学官連携など他事業への協力にもつながっている。</p> <p>4 今後の事業展望 民間のバスツアーでは見学できない公共的施設を見学できるという特徴を生かしながら、他区との連携も視野に入れつつ、東区民の誇りや愛着の醸成と交流人口の拡大に向けて、継続実施していく。</p> <p>【来年度方針】 継続 例年と同程度の4回実施することとし、「新潟県消防防災航空隊」や「新潟空港」といった公共的施設を見学できるという特徴を活かした内容として実施する。</p> <p>【必要予算額】 2,000千円</p>

地域課

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>東区魅力発信フォトコンテスト</p> <p>(事業開始年度) 平成29年度</p> <p>【令和6年度予算額 0千円】 (隔年開催のため)</p> <p>※令和3年度は「産業のまち東区魅力発信プロジェクト」として実施。令和4年度からは「東区まちづくり・ひとづくりプロジェクト」の事業に再編・統合。</p>	<p>地域課</p> <p>【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 東区の個性である「産業のまち」をはじめとした東区の魅力を区内外に広く発信し、区民としての誇りの再発見と交流人口の拡大を促進する。</p> <p>【事業内容】 東区魅力発信フォトコンテストを隔年で実施し、インスタグラムで応募作品を紹介することで、東区の新たな魅力の掘り起こしと、発信を行う。</p>	<p>・東区魅力発信フォトコンテストの実施 ・10月～1月末 募集 ・2月 審査会の実施</p> <p><一般部門> ・応募者100人 ・作品数283点 ・入賞数10点</p> <p><U25部門> ・応募者16人 ・作品数39点 ・入賞数10点</p>	<p>・インスタグラムで令和5年度の応募作品を紹介しており、継続して情報発信を行っている。(隔年開催のため、フォトコンテストの実施はなし)</p>	<p><実績></p> <p>○令和3年度 ・応募者61人 ・作品数193点</p> <p>○令和元年度 ・応募者64人 ・作品数 産業のまち部門99点 東区の四季部門77点 計176点</p> <p>○平成29年度 ・応募者79人 ・作品数 産業のまち部門172点 夜景部門87点 計259点</p>	<p>【評価】 東区の工場夜景を核とした事業を展開することにより、観光資源の少ない東区の新たな観光資源として認知度が向上し、区民の誇りや愛着の醸成、交流人口の拡大に寄与している。</p> <p>【来年度方針】 継続</p> <p>平成29年度、令和元年度、令和3年度、令和5年度に続き、フォトコンテストを隔年で実施する。令和5年度から一般部門のほかに、U25部門を設けており、若年層に向けた魅力発信に引き続き取り組む。東区公式インスタグラムでフォトコンテスト入賞作品を紹介し、「産業のまち」東区の魅力を継続的に発信する。</p> <p>【必要予算額】 1,500千円</p>

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
東区Eとこ「つたえる・ひろめる」プロジェクト (事業開始年度) R6～ 【R6予算額】 2,500千円	地域課 【第3部会】	【事業目的】 東区における「E(いい)とこ」(=魅力的なモノ・コト・スポットのこと)を、東区バス内で流れる車内アナウンスを活用して“つたえる”とともに、東区の公認キャラクターである「ぬたりん」と、東区の「Eとこ」を掛け合わせた広報資料を製作・配布することを通して“ひろめる”ことにより、東区内の魅力をも再発見してもらうことを目的とする。 【事業内容】 1 東区バス内における車内アナウンスリニューアル 2 ぬたりんイラストの作成と活用 ①東区の「Eとこ」と、ぬたりんを掛け合わせたイラストの新規作成及びノベルティの製作 ②ぬたりんの着ぐるみ貸出のPR	なし	1 東区バス内における車内アナウンスリニューアル 2 ぬたりんイラストの作成と活用 ①ぬたりんイラストの新バージョンの作成 ②Eとこ×ぬたりんのイラストの新規作成 ③Eとこ×ぬたりんのイラストステッカーの製作 ④Eとこ×ぬたりんのイラストを活用した東区バス(河渡ルートの中型バス)の外装ラッピング ⑤ぬたりんの飴の製作(食花マルシェなどで配布予定) ⑥区だより・ホームページを活用した「ぬたりん着ぐるみ貸出」のPR	中学校総合学習とぬたりん着ぐるみ貸出PRの連携 ・東新中4名 ・東石山中3名 ・山の下中3名	【評価】 1 事業内容の妥当性 本事業の実施は、東区公認キャラクターであるぬたりんの認知度アップと、東区のEとこの周知に有効であると考えます。 2 事業の効率性と費用対効果 東区の魅力的なモノ・コト・スポットを音声やイラストなど様々なツールでPRすることに留まらず、既に存在している「ぬたりん」という親しみやすいキャラクターを活用することで、若年層はもちろん、親世代や高齢者層にも幅広く効果的にPRできる。 3 協働の視点 職場体験で東区役所を訪問した中学生によるぬたりんの着ぐるみの試着体験を実施し、ぬたりんの周知や活用促進について共に考える機会を創出した。 4 今後の事業展望 今年度作成するぬたりんイラストやステッカーを、来年度以降も活用し、ぬたりんの認知度アップと東区の「Eとこ」の周知に継続して取り組む。 【来年度方針】 継続 令和7年度も東区の「Eとこ」とぬたりんを掛け合わせた広報資料を製作・配布し、東区内の魅力周知に継続して取り組む。加えて、区バスやe区バス(新潟市区バス位置情報システム)の認知度向上を目的に、区バスを活用した絵画や写真などの展示プロジェクトや、車内の特別内装を実施する。 【必要予算額】 1,000千円

建設課

令和6年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R5年度実施実績	R6年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>にぎわいのみなとまちづくりプロジェクト</p> <p>(事業開始年度) R4～</p> <p>【R6予算額】 3,000千円</p>	<p>建設課</p> <p>【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 広域交流拠点である「新潟西港」周辺の魅力や歴史、文化などを発信し、賑わい創出につながるイベント等を実施する。また、「新潟西港」が持つ拠点性や航路等でつながる地域との連携を活かした取組も進める。</p> <p>【事業内容】 ・地元まちづくり団体「山の下まちづくりセンター」を中心に、地元商店会や関連企業などと協力体制を組み合わせながら、イベントの企画運営を進める。 ・新潟西港の特色や拠点性を活かしたイベントの開催。(飲食、物販)</p>	<p>山の下地区の活性化、賑わい創出に向け、新潟西港周辺でイベントを2回開催</p> <p>【イベント】 1 光と船のきらめき！山の下夜遊びランド (8月26日、27日 開催) ・みなとランド、みなとタワーの利用時間延長 ・飲食店の出店 ・ライトアップ、ワークショップ等の実施 ・参加者数 約9,000人(2日間 推計) 26日:約6,000人 27日:約3,000人</p> <p>2 山の下ハロウィンパーティー (10月28日 開催) ・飲食店の出店 ・仮装やコスプレ ・スタンプラリー ・ライトアップ、ハロウィン装飾等の実施 ・参加者数 約1,000人(推計) ※雨天のため内容を変更し開催</p>	<p>山の下地区の活性化、賑わい創出に向け、新潟西港周辺でイベントを2回開催</p> <p>【イベント】 1 光と船のきらめき！山の下夜遊びランド (8月24日、25日 開催) ・みなとランド、みなとタワーの利用時間延長 ・飲食店の出店 ・ライトアップ、ワークショップ等の実施 ・参加者数 約6,000人(2日間 推計) 24日:約6,000人 25日:約0人(雨天中止)</p> <p>2 山の下ハロウィンパーティー (10月26日 開催) ・ステージイベント ・飲食店の出店 ・仮装やコスプレ ・スタンプラリー ・ライトアップ、ハロウィン装飾等の実施 ・参加者数 約3,000人(推計)</p>	<p>イベントの実施にあたり、地元まちづくり団体やコミュニティ協議会、企業等で構成する実行委員会を立ち上げ、企画や運営をおこなった。 イベント当日の交通誘導や警備を、地元自治会より積極的に担っていただいた。</p> <p>山の下地区活性化まちづくり実行委員会 【構成】 山の下まちづくりセンター 山の下地区コミュニティ協議会 桃山校区コミュニティ協議会 地元まちづくり団体 地元企業 東区役所</p>	<p>【評価】 1 事業内容の妥当性 新潟西港の新たな魅力として、「みなとの夜景」と地域の活性化を前面に出すイベントを実施し、東区及び山の下地区を代表するイベントになりえるほどの盛り上がりとなっている。 2 事業の効率性と費用対効果 多くの来場者からイベントを楽しんでもらえ、賑わいの空間として活用することが出来た。 3 協働の視点 イベントの実施にあたり、山の下まちづくりセンターを中心とした実行委員会を組織しており、また、事業予算については、まちづくりセンターと区が負担金として支出している。 4 今後の事業展望 産業のまち東区、港町である山の下地区を代表するイベントとして定着させ、地域の新たな魅力創出や活性化につなげていく。</p> <p>【来年度方針】 継続 東区及び山の下地区を代表するイベントとして定着しつつあるため、今後は持続可能なイベント開催に向け、参加者や関係者にアンケートを実施し、山の下地区の活性化に繋がるよう、実行委員会と相談しながら、検討を進める。</p> <p>【必要予算額】 2,500千円</p>